

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標： 考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第25号

令和5年3月7日

校長 穂山俊之



本小だより

感謝と感動 6年生ありがとうの会



卒業を22日後に控えた3月1日(水)の3、4校時、「6年生ありがとうの会」が行われました。

今年のありがとうの会も、コロナ対策のため、「対面」で参加する場面と「リモート」で参加する場面のある「ハイブリッド形式」で行われました。昨年度よりさらに進化した「コロナ対応のスペシャルバージョンPART 2」です。

どの学年も、6年生に感謝の気持ちを伝えたいと、2月から準備を重ね今日を迎えました。

1年生は、金メダルをつくり、プレゼントしました。

2年生は、飛び出す仕掛けの招待状を作って、手渡しました。

3年生は、お花の形をしたカードにありがとうのメッセージを綴りました。

4年生は、メイン会場のひとつである体育館の飾り付けをしました。

5年生は、中心となって、会全体の企画と当日の運営、各学年や担当との調整に取り組みました。

メインイベントは、1～5年生全員が、多目的ホールのペランダにいる6年生に向けて、中庭を取り囲むようにして大合唱した「365日の紙飛行機」。そして6年生へのエール……。

涙を流した6年生の姿もありました。感謝の気持ちが、6年生にしっかりと伝わったことと思います。

それに応える6年生の発表も、ユーモアと優しさが伝わる、心温まる発表でした。合唱「ありがとうの花」には、感動の涙。

この日までに、全校生がそれぞれの役割を立派に果たしたことで、思い出に残る素敵な会となりました。

中心になった5年生は、いよいよ6年生から最高学年のバトンを引き継ぎ、本宮小学校のリーダーとして動き始めます。

会が終わった後、5年生の子どもたちは、大きな事をやり遂げた満足感でいっぱいの表情を浮かべていました。





一人一人が自分の力を発揮してみんなで力を合わせれば、こんなに素敵なことができることを学びました。次の学校リーダーとして、大きな自信になったとでしょう。



会を大成功に導いた5年生。大きな自信に繋がりました。満足の笑顔でパチリ

やらない理由、できない理由を探すのではなく、
どうしたらできるのかを考え、実践する・・・。

子どもたちのアイデアをもとに、自分たちで手づくりの会を創り出すことを見守り、支えてくれた本校教職員にも拍手を送りたいです。

感謝と感動・・・学校中が、温かい気持ちにつまれました。

6年生ありがとう！ **がんばれ！5年生！**

朝の登校風景

新しい班長、副班長のもと・・・



6年生ありがとうの会で、登校班旗の引き継ぎがあったことをうけ、翌2日（木）より多くの班で、新しい班長、副班長のもとでの登校が始まっています。

正式には新1年生が入学してからの班となりますが、それまでは、6年生と交通安全専門員や見守り隊の方々に見守っていただきながら、安全に気をつけて集団登校を実施していきます。新班長さんは、

周りを気にしながら、少し照れた表情でしたが、立派に班長を務めていました。

もちろん、本宮小の伝統のひとつである「停まってくれたドライバーさんへのお礼」もきちんと継承されていました。素晴らしい！

子どもたちの新年度への意欲や期待が感じられた、3月3日（金）の登校風景でした。

